

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論 I		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子	410	mariko.horiguchi	授業終了後・火曜日 16:00~18:00		
授業の目的・概要	疾患や外傷などによる急激な健康破綻によって医学的治療を受け健康回復を図る必要がある対象者に対して、疾患や病態生理の理解を基に、手術や治療による身体の変化や患者・家族の心理状態を理解し、健康課題を特定し、それに応じた生命維持や心理社会的な基本的看護援助、および急性期を脱してからの心身の早期回復と回復促進に向けた基本的看護援助を学ぶ				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	成人看護学概論で学修した知識と1年次および2年次の疾病治療論等の基礎知識が前提となるので、自己学習を自主的に行うこと。疑問点は、授業中やリアクションペーパーでの質疑応答で解決できるようにすること。				
教科書	① 経過別成人看護学② 周術期看護 /編:明石恵子、嵩田理桂 /メヂカルフレンド社 /2023 ② 専門分野(2)成人看護学<2> 第17版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 ③ 専門分野(2)成人看護学<3> 第17版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 ④ 専門分野(2)成人看護学<5> 第17版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 ⑤ 専門分野(2)成人看護学<7> 第17版 脳・神経(系統看護学講座)/医学書院 ⑥ 専門分野(2)成人看護学<8> 第17版 腎・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 ⑦ 専門分野(2)成人看護学<10> 第17版 運動器(系統看護学講座)/医学書院 ⑧ 系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 第11版 /医学書院 2023 [8冊指定]				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生命の危機状態にある対象と家族の回復過程への看護について説明ができる。		HSU(1)(2) ,NS(1)(3)		
②	生命の危機状態にある対象の治療、処置、検査について説明できる。		HSU(2) ,NS(3)		
③	治療(手術を含む)、処置、検査を受ける対象への看護を説明できる。		HSU(2) ,NS(3)		
④	生命の危機状態を脱した対象と家族のセルフケアへの看護が説明できる。		HSU(3) ,NS(1)(2)(3)		
⑤	対象の社会的な生活背景を踏まえ退院後のQOLの維持・向上の看護援助を理解できる。		HSU(1)(2) ,NS(1)(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	手術療法と周術期看護の役割	講義	教科書を読み手術療法の特徴と看護の役割について理解し授業に臨む。	1	
	手術療法と周術期看護の基本 手術療法と生体反応の基本	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。	1	
2	手術療法と周術期看護の基本 周術期にある患者・家族の特徴	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。	1	
3	術前の患者・家族の看護 患者・家族の看護 手術に向けた準備	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。	1	
4	術中の患者家族の看護 環境・役割・麻酔・手術室入室から退室まで 手術室における医療安全 (認定看護師)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 認定看護師の講義から役割と実際の学びをレポートにする。	1	
5	術後の患者・家族の援助 情報収集・アセスメント、看護問題、 患者・家族へのケア 機能低下から早期回復と術後合併症対策 疼痛対策 感染対策 ドレーン管理 創傷治癒 褥瘡対策	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。	1	
6	術後回復過程における患者・家族の看護 患者・家族の看護 回復過程における生活の調	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。	1	
7	手術を受ける患者の看護 (基礎疾患のある 内視鏡下手術)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書⑤	1	
8	手術を受ける患者の看護(脳・神経系、頭部)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書⑤	1	
9	手術を受ける患者の看護(呼吸器系)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書②	1	
10	手術を受ける患者の看護(循環器系)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書③	1	

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

11	手術を受ける患者の看護 (消化器系)(腎・泌尿器系)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書④⑥	1			
12	手術を受ける患者の看護 (運動器系)(性・生殖系)	講義	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書⑦①	1			
13	弾性ストッキング着脱 ストーマケア	講義	弾性ストッキング装着、ストーマケアの レポートする。(資料配布) 演習:場所 基礎・成人看護実習室	1			
14		演習		1			
15	手術を受ける患者の看護(高齢者 基礎疾患のある)	講義 GW 発表	教科書を読み理解し授業に臨む。 教科書⑧⑨⑩	1			
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	0	0	10	100
総合力 指標	知識・技術力	60	10	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	筆記試験により学習成果を評価する。			必要に応じて解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①		レポートにより授業内容の理解および学生自身の考え方が 明確に表現されているか評価する。(4回、13・14回目)			授業中にフィードバックする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①		授業・実技演習への参加姿勢や授業への出席率を評価する。			授業時に助言する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の 実務経験	科目責任者は、看護師として40年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、成人期の看護について理解を深める。 教員の経験から成人期の看護の実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
そ の 他	・授業には特別の理由がない限り毎回出席し、理由のない授業の欠席は減点とする。 ・試験への教科書持ち込みは不可とする。						